

平成25年度北斗市社会福祉協議会事業報告について

1 会員増強運動の推進

社会福祉協議会の財政基盤の確立を図るため、市民の皆様のご理解や町会連合会のご協力をいただき、個別会員の加入促進や市内の企業・事業所等の賛助会員の増強に取り組みました。

	内 訳	金 額
戸別会員	14,548世帯	2,909,600円
個人会員	223人	223,000円
団体会員	57団体	171,000円
特別会員	86町会	172,000円
賛助会員	132事業所	1,104,000円
合 計		4,579,600円

※賛助会員増強運動期間 6月17日～19日 3日間

2 福祉基金の積立状況

地域福祉事業に還元し事業の安定化を図るため、市民の皆様から寄せられた浄財を福祉基金に積み立てるとともに、その活用を図りました。

件数	金 額
24	1,116,909 円

3 愛情銀行への預託・配分

市民の皆様からの善意を預託し、歳末募金と併せて年末に歳末福祉見舞金として配分しました。

項 目	金 額	内 訳
預託金	5,675,251 円	共同募金会 4,404,018 円
		建設協会 500,000 円
		園友会 100,000 円
		南更正保護女性会 20,000 円
		前年度繰越金 651,233 円
配分金	4,548,000 円	世帯数 379 世帯
		1世帯当たり 12,000 円
事務費	220,195 円	町内会事務費 220,195 円
繰越金	907,056 円	翌年度繰越金 907,056 円

(1) 歳末福祉見舞金（福祉灯油代）配分集計表 （単位：世帯・円）

区分	準用保護 世 帯	遺 児 世 帯	独 居 世 帯	合 計
世 帯 数	292	52 6	35	379
配 分 額	3,504,000	24,000	420,000	4,548,000

#### 4 在宅福祉事業の推進

##### (1) 小地域ネットワーク活動推進事業

町会連合会及び民生委員児童委員協議会を中心として、市民と連携を図りながら、住民の皆さんが住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、助け合いチームの組織強化を助長し、見守り活動を中心とした活動を推進しました。また、福祉票を活用した安心安全の生活支援を展開しました。

町会数	75歳以上人口
86	5,422 人

##### (2) 独居老人訪問活動事業（福祉五目ちらし事業・サンタクロース事業）

高齢社会における在宅福祉の一環として、民生児童委員や高校生が贈り物を持って一人暮らしのお年寄宅を訪問し話し相手になるなど、その安否確認とふれあい活動を実施しました。

##### ◎70 歳以上独居対象者

世帯数	地区別内訳
1,187	本所地区 939世帯 支所地区 248世帯

##### (3) 法人後見事業の推進

判断能力が不十分なため、意思決定が困難な人の判断能力を補うため、成年後見人等に就任することにより、本人の権利擁護を図り、地域福祉の推進に寄与しました。

対象者数	内 訳
3	入院者 うち1名死亡 (H25.8.15)

##### (4) 地域サロン活動支援事業

地域の会館等を活用し、定期的・継続的に各種の催しを開催し、高齢者等の引きこもりを防いだり、呼びかけをすることで、地域とのつながりを深め、健康と生きがいがづくりを推進するため助成金を支給するほか、情報提供や助言等を実施しました。

##### ◎実施町内会 4町内会

町会名（サロン名）	事業内容	回数	参加者数
茂辺地町内会 (地区サロン活動)	カラオケによる交流、ボランティア団体による講演、映画鑑賞会などを開催	3	98
七重浜4丁目町会 ふれあいサロン)	食べて・歌って（童謡）・語ろう会、いきいき体操、役員・班長・民生委員合同懇談会による気になる世帯の協議、認知症の基礎知識に関する講座、ふれあい交流会を実施	28	589
久根別はまなす町会 (ふれあいサロン活動)	赤十字安全法講習、健康教育、共同募金の使い道などの講演、筋力トレーニング・熱中症予防、高齢者うつ症状の人の接し方などの講演、カラオケ大会などを実施	4	128

久根別みどり町会 (お茶とカラオケ 触れ合いサロン)	カラオケサロン、お花見会、高齢者の健康管理講習 、お茶の作法、食事会など講師による講演を実施	9	162
----------------------------------	---	---	-----

## 5 各関係団体の事務局業務及び団体運営のための支援

- ・老人クラブ連合会  
(ゲートボール大会、交通安全街頭啓発、パークゴルフ大会、リーダー研修会、施設演芸慰問活動、老人クラブ大会、新年研修会など)
- ・身体障害者福祉協会  
(ミニスポーツ大会、レクリエーション、視察研修、新年研修会、カラオケ大会など)
- ・母子寡婦会  
(夏まつり・陣屋桜まつり出店、視察研修、施設慰問、新年研修会、ふれあい運動会など)
- ・遺族会  
(春秋のレクリエーション、平和祈念祭、北海道戦没者追悼式、道南遺族大会、女性部研修会、新年研修会など)
- ・ボランティア連絡協議会  
(交流会、夏まつり出店、視察研修、ボランティア愛ランド、新年研修会など)
- ・北斗市戦没者慰霊会(北斗市戦没者慰霊祭)
- ・北斗市共同募金委員会(赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金)

## 6 心配ごと相談事業の推進

住民の悩みごとや心配ごとなど「よろず相談窓口」として生活上の相談に応じ、住民の福祉増進を図るための相談事業を継続実施しました。

### ◎相談の状況(相談件数)

相談内容	生計	年金	住宅	家族	結婚	離婚	医療	財産	母子
件数	2	0	0	0	0	0	1	2	0
相談内容	苦情	人権	健康	職業	精神	教育	その他	合計	
件数	4	0	0	1	1	0	7	18	

### ◎処理状況

取扱内容				計
再来	民生委員	他機関紹介	その他	
2	0	13	3	18

## 7 生活応急資金の貸付

低所得世帯の経済的自立と生活意欲の向上を図るため、一時的に必要な資金の貸付を実施しました。

### (1) 貸付件数及び貸付金額

区分	貸付件数	貸付金額
生活保護世帯	11	453,000
母子家庭世帯	2	120,000
低所得者世帯	5	290,000
合計	18	863,000

(2) 相談件数

区分	実相談人数	延べ相談回数
貸付等相談	65	77
償還等相談	42	252
合計	107	329

8 生活福祉資金の貸付支援

離職者を対象にした総合支援資金、低所得世帯や母子世帯、身体障がい者世帯等を対象とした福祉資金や教育支援資金等、民生児童委員との連携協力により経済的自立と生活意欲の向上を図り、安定した生活ができるよう生活福祉資金の貸付に係る相談及び貸付事務を実施しました。

(1) 貸付件数

資金別 世帯別	福祉	教育	その他	総合 支援	合計
低所得					
母子		3	1		4
身障					
生保					
離職者					
被災者					
合計		3	1		4

(2) 相談件数

区分	実相談人数	延べ相談回数
貸付等相談	36	51
償還等相談	48	168
合計	84	219

9 受託事業の推進

◎北海道社会福祉協議会からの受託事業

(1) 日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業は、成年後見制度の手前を支える事業として、生活支援が必要な方の日常的な金銭管理をすることで、より生活の見守りやその中で見えてきた生活課題に福祉サービスの利用をつなげ、生活全体の見守りを実施しました。

対象者数	支援回数	支援員数
4	45	6

◎北斗市からの受託事業

(1) 家族介護者交流事業

高齢者を介護している家族に対し、介護から一時的に解放することにより介護者相互の交流を図り、心身の元気回復を図ることを目的とした交流会を実施しました。

対象世帯	実施回数
1	1回

(2) 手話通訳者養成事業

聴覚障害者の日常生活を支援するため、手話通訳者の養成を行う事業で養成講座参加者に対する支援事業

◎実績なし

(3) 食の自立支援事業

調理困難な高齢者に対して、定期的に居宅を訪問し、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに利用者の安否確認を実施しました。

サービス名	調理施設	延べ配食数	実利用者数
施設配食サービス	清華園	8,267人	81人
配食サービス事業	2施設	381人	7人
合計	3施設	8,648人	88人

(4) 北斗市保健センター管理事業

利用者数	月平均利用者数
11,751人	979人

(5) 北斗市せせらぎ保健センター管理事業

利用者数	平均利用者数
6,338人	528人

(6) 除雪サービス事業

(単位：人)

障害世帯	障害独居	老人世帯	老人世帯障害世帯	老人独居	老人独居障害独居	合計
11	23	86	24	327	16	487

(7) 南渡島ファミリー・サポート・センター運営事業

子育て支援の一環として、提供会員の養成をしながら依頼会員の要請に応じてサービス提供をしました。

依頼件数	提供会員数	依頼会員数	両方会員数	合計
1,636件	139人	536人	68人	743人

(8) 養育支援訪問事業

児童虐待防止施策等の一環として、子育て支援に関する事業で、育児ストレス等によって、子育てに対して不安や孤立感等を抱える家庭や様々な原因で養育支援が必要と認められる家庭に対し、訪問支援員の訪問による養育支援・援助等を実施しました。

訪問支援員数	養育支援数	訪問回数（会議含む）
6人	5人	26回

(9) 軽度生活援助事業

在宅のひとり暮らし高齢者の自立した日常生活を維持し、要介護状態への進行防止を図るため、ヘルパーを派遣しました。

利用者数	延べ提供回数
5 人	62 回

(10) 生活管理指導員派遣事業

基本的な生活習慣が欠如するなど、社会適応が困難な高齢者が日常生活に必要な指導等を必要とする場合の指導員を派遣

◎実績なし

(11) 移動支援サービス事業

屋外での移動が困難な障がいのある方に対して、社会生活上、必要不可欠な外出や余暇活動などの社会参加のために、外出の際にヘルパーなどを派遣しました。

利用者数	延べ提供回数
4 人	404 回

(12) 北斗市地域包括支援センター事業

①総合相談支援事業

ア 相談内訳

(単位：件)

	実件数	延べ件数
センター来所	233	412
電話	782	2,261
自宅訪問	152	749
その他	29	104
計	1,196	3,526

イ 相談内容

(単位：件)

	実件数	延べ件数
介護相談	442	571
介護保険サービス	634	1,693
地域支援事業	122	257
保健福祉サービス	249	741
ケアマネジメント等	163	348
虐待・権利擁護	38	241
その他	116	410
計	1,764	4,261

②権利擁護事業

(単位：件)

	実件数	延べ件数
成年後見制度	3	9
消費者被害	2	4
困難事例	30	214
その他	5	21
計	40	248

③虐待 (単位：件)

	実件数	延べ件数
身体的	8	92
経済的	1	5
精神的	4	45
性的	0	5
介護放棄	2	40
計	15	187

④介護予防マネジメント事業

・介護予防支援数 (単位：人)

	実人数	うち新規
要支援 1	1,770	70
要支援 2	2,936	82
合計	4,706	152
月平均	392	13

⑤包括的・継続的ケアマネジメント事業

事業名	
福祉関係事業所研修会 (包括、市、ケアマネ協会)	3 回
認知症連絡協議会及び研修会参加 (道南認知症疾患医療連絡協議会)	3 回
介護予防運動基礎知識研修	2 回
地域ケア会議	37 回
事例検討会	7 回
高齢者虐待予防研修会	2 回

⑥地域づくり

事業名	
地域介護予防講座 (予防体操含む)	27 講座
認知症家族の会定例会・役員会 (H25より事務局)	14 回
運営推進会議	41 回
認知症サポーター養成講座	7 会場

⑦地域支援事業 (訪問アセスメント)

(単位：件)

事業名	
食の自立支援事業	118
生きがいデザイナー・ビス	270
軽度生活援助事業	2
二次予防事業	5
生活管理短期宿泊	3

## 10 介護保険事業の推進

高齢者や障がい者がその有する能力に応じて、可能な限り居宅において自立した日常生活を送れるようケアプランを作成しサービス支援をしました。

### (1) 居宅介護支援事業

ケアプラン作成件数

(単位：件)

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
629	471	296	191	149	1,736

### (2) 居宅訪問介護事業

◎利用者人数及び利用回数

(単位：回)

介護度	利用者数	身体介護	生活援助	身体生活	介護 I 型	介護 II 型	介護 III 型	合計
要支援 1	222	-	-	-	603	561	-	1,164
要支援 2	284	-	-	-	468	705	1,006	2,179
介護 1	306	366	1,781	431	-	-	-	2,578
介護 2	168	149	1,193	59	-	-	-	1,401
介護 3	89	168	791	268	-	-	-	1,227
介護 4	64	707	402	419	-	-	-	1,528
介護 5	49	1,427	1	74	-	-	-	1,502
合計	1,182	2,817	4,168	1,251	1,071	1,266	1,006	11,579

### (3) 障がい者自立支援事業

◎利用者人数及び利用回数

(単位：回)

区分	利用者数	身体介護	家事援助	重度訪問	通院	同行援護	合計
身体障害	182	1,020	1,030	-	418	45	2,513
知的障害	-	-	-	-	-	-	-
児童	18	149	-	-	28	-	177
精神	85	76	1,383	-	88	-	1,547
合計	285	1,245	2,413	-	534	45	4,237

## 11 福祉有償運送事業

◎利用者人数及び利用回数

介護		自立支援		計	
人数	回数	人数	回数	人数計	回数計
330	762	205	604	535	1,366

## 12 ボランティア活動による地域福祉活動の推進

市民にボランティア活動の意義を理解していただき、誰もが気軽に福祉活動に参加できる気運を高めるため、「福祉講座」や「ボランティア体験研修」を開催。また、障がい者と住民の交流、心のふれあいを通じて障がい者の自立と社会参加を促進するため、「ふれあい広場」事業を各関係者とともに開催しました。

また、福祉まつり開催にかかる運営に市内 200 名以上のボランティア協力を得るとともに、市内ボランティア団体等への支援・助成を行いました。

## ☆福祉講座

地域サロン事業（モデル事業）を効果的に実施するため、コーディネーターやサポーターの存在が欠かせないことから行政と一体となってサロン事業コーディネーターやサポーターを養成しながら実施する前段として、地域福祉とサロン活動のあり方について、講師を迎え開催しました。

## ☆ボランティア体験研修

特別養護老人ホーム「清華園」において上磯中茶道部員によるお点前を入所しているお年寄りに披露しました。

## 13 福祉まつりの開催

福祉まつりは総合文化センターにて開催し、社会福祉大会表彰式や同時開催のユニバーサル映画祭の実施、福祉用具の展示会、福祉施設作品展示販売を開催しました。開会式終了後、ユニバーサルデザイン社会に向けて～つながり・役割・居場所 から考える～と題して講演会を実施いたしました。

## 14 広報啓発活動の推進

社協の事業内容のご理解とご支援をいただくため「社協だより」4回発行しました。また、ホームページを開設し、北斗市社会福祉協議会をPRしました。